

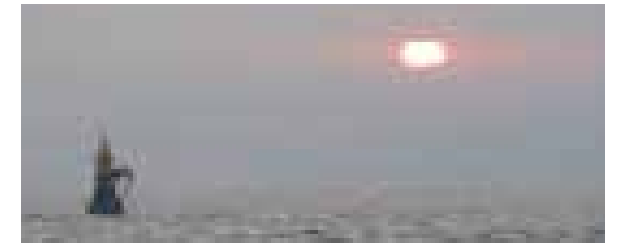


垂水ええとことこブック

地元に住んで、地元でガイドをおこなっている垂水観光ボランティアのメンバーが、ガイドコースだけではなく、「おすすめポイント」「ええところ」「伝承」など、「垂水区ってこんなところ」を紹介します。楽しんでください。※不定期発行



意外と知らない？ 垂水は、神戸最南端のまち



神戸市の概要をコンパクトにまとめた小さな冊子（※）があります。その中で神戸市の南端は北緯34度37分27秒 垂水区平磯3丁目と書かれています。

そうなんです。垂水は遠い昔から神戸の最も南にあり神戸空港よりも、さらに南なんです。兵庫県に点在する島を除けば兵庫県最南端でもあります。雨は少なく温暖な気候は住むにはもってこいです。

このことをガイドの際に話しますと、ほとんどの方が「へーそうなんや。知らなかった」と。その場所は？というとき垂水漁港があるところ。漁港については、ええとことこブック No2 号に詳しく載っていますので省きますが、昼セリで競り落された魚は近くの市場に並びます。威勢の良いかけ声に応じるお客さんとの会話に地元の人達の活気と温かさを感じます。

ここ垂水は景色も素晴らしいんです。淡路島と結ぶ世界一の吊橋・明石海峡大橋、行き交う船、豊かな魚に群れるカモメ、輝く海……。波打ち際に立てば六甲の山々も、明石の裾も後ろに見えます。美しい街といわれる神戸の中でも、この雄大な景観を楽しめるのは、南端だからこそではないでしょうか。

明治の時代、“宮さん、宮さん……”で有名な有栖川宮熾仁親王は、この地（今の舞子ビラのある高台）に保養のため別荘を建てました。そよぐ浜風とゆったりした眺めは、心と体を癒したことでしょう。

渚に並行する西国街道（国道2号線）沿いには、当時の裕福層の別荘や旅館が並びました。新島襄と八重さん夫婦が保養のため訪れたところでもあります。

そうです。垂水というところは、身も心も暖かい、温かい神戸最南端のまちなんです。

※『神戸市統計要覧』。一冊 100 円で神戸市から頒布されています。

小川 一夫

～写真は、その最南端の場所からの初日の出です。残念ながら今年は曇っていました～

なるほどスポット紹介

垂水駅にいる私は誰？



私を見かけたことありますか？

JR 垂水駅西口の構内で日々、多くの乗降客を見守り続けています。

私のことをお地蔵さんだと思っている人も多いはず。

実はとんちで有名な「一休さん」です。

1977年、低い梁（はり）でけがをしないよう、

地元の石材屋さんが私を作ってくれました。

「勉強の神様」といわれた時期もありましたが、よく見て下さい。

私が持っているのはほうきです。

駅をきれいに、といつも念じているのです。



今号掲載スポット！

垂水区の海側・まちなかを今回は紹介することができました。まだまだ区内には素敵な場所などがたくさんあります。今後の発行をお楽しみに♪



個人または団体からの申し込みによるガイドも受付しています。詳細は下記をご覧ください。ガイドはこんな感じでおこなわれてるよ。



垂水観光ボランティアガイド
問い合わせ先
〒655-8570 垂水区役所まちづくり課内
垂水観光推進協議会事務局
「垂水観光ボランティア」係
TEL (078) 708-5151
FAX (078) 708-7450
URL <http://www.tarumi-kanko.jp/>
Eメール info@tarumi-kanko.jp
※件名は「垂水観光ボランティア」

地元の観光ボランティアが無料で区内をご案内します♪
垂水の名所・旧跡など、訪れる人に歴史や地元ならではの情報をお伝えします♪

【費用】

ガイド料は無料です。ただし、有料施設に随同行する場合の入館料、ガイド時間帯内の担当ガイドの移動費などは、お客様のご負担になります。

【申込人数】

少人数（2名以上）から団体までご相談ください。

【お申込期限】

ガイド希望日を含めて2週間前までにお申し込みください。

【申込方法】

申込書の必要事項を記入し、Eメール、FAX、郵送で、送付してください。事務局からご連絡いたします。

垂水にもあるよ！市民の木、市民の森

散歩やウォーキング、ハイキングの時、市民の木や市民の森の表示板を見たこと！ありませんか？

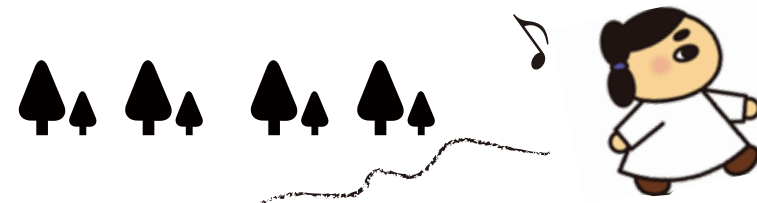
垂水区にも、市民の木が4本と市民の森が1か所あるんですよ。

神戸市では長い歴史を見続けてきた古木や、雄大さと安らぎを与えてくれる森（樹木の集団）を市民の協力のもとに「市民の木、市民の森」に指定しているんです。

平成24年4月1日現在、市民の木57本、市民の森28か所あります。垂水区内には市民の木が4本、市民の森が1か所あります。ご存知でしたか？

それでは紹介しましょう。何かのついでの時にぜひ見てやってください。

この制度は昭和47年施行の「神戸市の環境を守る条例」によってはじまり、その後昭和51年施行の「神戸市公園条例」に引き継がれ、追加指定や枯れるなどの指定取り消しを経ながら緑豊かな神戸の街づくりに貢献してきたのです！



●洞養寺のクロマツ

市民の木3本目は、同じく洞養寺境内の空高くそびえる樹齢350年のクロマツです。門をくぐって左手にあり、あまり枝を広げずに高さ13mもあり太い幹は風格があり街並みを見下ろしています。

明治6年、西垂水村の小学校はこのお寺で「徹道小学校」として発足しました。（これが現在の垂水小学校の前身）



●舞子六神社のエノキの大木

市民の木4本目は舞子六神社本殿の左奥にあるエノキの大木です。木の隣には日本最大の石造りのエビス、ダイコク像がたっています。神社の前の道が旧山陽道で、昭和8年に現在の国道2号が出来るまでは、旅人や馬車、自動車にぎわっていました。



市民の木 垂水の市民の木 市民の森

●青木禅寺のクロマツ

市民の木1本目は、青木禅寺境内の樹齢400年のクロマツです。枝張10m以上もある見事な1本松です。階段を昇ってすぐ右側にあり竹の支柱の上で地面すれすれに枝をいっぱい広げています。龍が寝そべっているように見えることから「端龍の松」とか家が立ち並ぶ前はマツ越しに瀬戸内海が望めたことから「帆掛け船に見える」とも言われています。毎年1回剪定され、庭園樹として素晴らしい姿を整えています。



市民の森 垂水の市民の森

●海（綿津見）神社の樹木の集団

垂水区内の市民の森はJR垂水駅のホームからも見える海（綿津見）神社の樹木の集団です。（クロマツ、クスノキ、イチヨウ、ケヤキ、ウバメガシ、アラカシなど）

毎年、秋祭りの10月12日は海上渡御祭でたくさんの人でにぎわっています。



●洞養寺のクヌギ（あべまき）

市民の木2本目は、洞養寺境内の樹齢300年のクヌギ（あべまき）です。裏門のそばに生い茂っており輪周2.4mもある堂々とした大木です。この大木は東隣の「くがの公園」からも見る事ができます。みなさん、元気づけてやって下さい！



文献・神戸市建設局発行
「こうべの名木、古木」 M.K